



移住を考える人たちのきっかけを作る『拠点』として

もつと愛南町の魅力を伝えていきたい、これからも。

昨年度末、地域おこし協力隊としての任期を終えた森裕之さん。今もなお、緑地域との繋がりを大事にし、愛南町の魅力を発信し続ける森さんに、現在の活動についてお聞きしました。



森裕之（もりひろゆき）

1970年生まれ。横浜市出身。2017年4月から愛南町初の地域おこし協力隊として3年間、緑地域を中心に活動する。

森さんが地域おこし協力隊として愛南町を訪れたのは4年前の4月。緑地域の住民グループ「まるごと緑」と共に地域おこしに奮闘し、愛南町の魅力を町内外の人たちへ発信し続けました。昨年は、協力隊としての最終活動目標である「滞在型体験プログラム」を実現するため、空き家をゲストハウスへと改装する準備をスタートさせました。

協力隊の活動と開業準備の両立は決して楽な物ではありませんでしたが、地域の方たちの協力もあり、掃除や片付け、改修工事を終え、一年の準備期間を経て、ゲストハウス『カイトク舎』を立ち上げました。

当たり前じゃない魅力が身の周りにありふれている

「愛南町の魅力はたくさんあるけど、例えば自然が豊かで食べ物もおいしい。地域の人たちは気付いていないが、身の周りにありふれている当たり前が本当は当たり前じゃない事に気付いてほしい」と地域おこし協力隊として、また町外からの移住者目線で町の魅力について話します。

その魅力を積極的に発信し、関係人口・交流人口を作るための活動を企画していた森さんは、さまざまな体験ツアーを通して町をアピールしてきました。「農体験を行うことで、後継者不

足に悩む農家の担い手不足解消に繋がったり、町のファンになる可能性もあります。また、何度も通ううちに移住を決断した方もいます。子どもの人數も増え、地域にとってもこんなうれしい話はありません」と、まるで自分の家族が増えるかのようにうれしそうに話す一方、地域の良さを知ってもらうための拠点となる場所の必要性を感じました。

他にも、新しい土地での仕事探しの不安から移住を決断できない人たちもいて、躊躇する人たちのためにも自分がロールモデルとなって地域資源を生かした働き方・自分らしい生き方の拡大に繋げていきたいという思いが『カイトク舎』の立ち上げを支えました。

カイトク舎という選択

「ありがたいことに協力隊として活動した3年間は、さまざまな経験をし、自由に地域おこしの活動をするのができました」恵まれた環境だったと話す森さんですが、それは生活の保障があることが前提の話です。任期終了後は、収入源の選択肢の少なさを身を持って痛感しました。

「地方はどうしても選択肢が少なくなってしまうため、多様性と寛容性が必要と感じます。個人事業主や起業家の多い地域は起業が盛んになると雇用も生まれ、地域として強くなっていく」と、森さんは考えました。その上で、い



いろいろな地域を見て体験してきた森さんですが、任期終了後も緑地域に腰を据えた理由として、「緑地域の方はオープンなのに距離感が近すぎない。ちょうどいい距離感で『やっぱりいいわ』と自分のチャレンジを後押ししてくれる人柄は、本当にありがたかった」と話しました。農林業を主とする緑地域では、害獣被害や空き家問題を多く抱えています。しかし、森さんは移住コーディネーターとして『カイタク舎』を新たな空き家の使い方のモデルとしてアピールしたり、畑や山を荒らす害獣さえもジューガイツァーと称して体験プログラムに取り入れています。

「当たり前じゃない愛南町の魅力を伝えることは、ジビエにも同じことが考えられます。栄養豊富で高タンパク低カロリーで良質な肉はアスリート食としてはもちろん、女性にとっては美容にいいことから高い注目を集めています。『実は価値のないように見える物にも価値があって、見方を変えれば地域の宝に代わる』と話すように、問題を逆手に取ったアプローチ方法で地域外の人が面白いと思える事を積極的に発信し続けています。」

『カイタク舎』はコロナ禍のオープンということもあり、宣伝活動をほとんど行っていない。今の状況でお客様を呼び込むことは難しいですが、逆手に取ればこれは転機だと森さんは考えています。

現在はリモートワークの浸透もあり、場所に構わず働けるワークスタイルの変化や新しいライフスタイルを結び付けていけば職種の幅が広がり、新たな選択肢を広げることに繋がります。「関係人口の創出を起点に、移住定住人口を増やして持続可能な町づくりに貢献するためにも、私や『カイタク舎』というこの場所が愛南町・緑地域に多様な形で関わる、移住のきっかけ作りとなる橋渡し役の拠点でありたい」と今後も、愛南町の魅力を発信し続けていくことへの意欲を話しました。

地域おこし協力隊を経験したからこそ

森さんの想いと地域の方たちの願いも込められている『カイタク舎』はまるで、いつでもどこでも生きていく力を身に付けていきたいと強い意志を持つ森さん自身を表しているようでした。

コロナ危機を開拓の転機へ

「カイタク舎」はコロナ禍のオープンということもあり、宣伝活動をほとんど行っていない。今の状況でお客様を呼び込むことは難しいですが、逆手に取ればこれは転機だと森さんは考えています。

現在はリモートワークの浸透もあり、場所に構わず働けるワークスタイルの変化や新しいライフスタイルを結び付けていけば職種の幅が広がり、新たな選択肢を広げることに繋がります。「関係人口の創出を起点に、移住定住人口を増やして持続可能な町づくりに貢献するためにも、私や『カイタク舎』というこの場所が愛南町・緑地域に多様な形で関わる、移住のきっかけ作りとなる橋渡し役の拠点でありたい」と今後も、愛南町の魅力を発信し続けていくことへの意欲を話しました。



▲広々とした交流スペース



▲客室は洋室2部屋、和室1部屋



【ゲストハウス カイタク舎】

- ・素泊まり(当分の間、1日1組限定)
- ・最大8人まで宿泊可能
- ・各種体験プログラム(要予約)
- ・オプションでジビエBBQの提供



[所在地] 愛南町緑甲308

[電話番号] 0895-73-8851